

「未来の科学者のための駒場リサーチキャンパス公開 2024」

in 東京大学

日時 ; 2024年6月8日(土) 10時~16時
場所 ; 東京大学駒場リサーチキャンパス
参加生徒 ; 有馬高校生4名(1年生、3年生)
引率者 ; 「総合的な探究の時間」担当 杉原孝治

最先端の学術・技術を体験体感する東京大学のイベントに参加してきました。

【企業関連ブースでの様々な体験】

- ・JX 金属
銅ってどういう金属なんだろう <https://www.jx-nmm.com/>
- ・東京メトロ
模型を使って電車が走るしくみを調べてみよう <https://www.tokyometro.jp/>
- ・日本精工
ベアリングって何だろう <https://www.nsk.com/jp/>
- ・日本トライボロジー学会
摩擦を知ろう、体験しよう - 摩擦の大切さとSDGsへの貢献
<https://www.tribology.jp/>
- ・JAL
JAL折り紙ヒコーキ教室 <https://www.jal.com/ja/>

【訪問した研究室】

- ・注射は嫌い。マイクロニードルパッチは？
- ・インクルーシブな学び方・働き方
- ・食べられるコンクリート??
- ・生物多様性・生態系サービス
- ・電気自動車の充電を体験
- ・触れて遊んで考えよう！新しい学びあふれる教室
- ・響きの体験



JAL 特製飛行機を作った的当て☆

JX 金属のマスコットキャラのカッパーくんと記念撮影♪



(左) ベアリングを作って、摩擦を減らしてエネルギー効率を高める仕組みを経験しました。

(右) 摩擦の大切さを体感中。摩擦がないと立てないよ、、、。

「摩擦」を減らす技術と活用する技術、とても興味深いですね。



晴天の研究キャンパス公開日和
キッチンカーも出店しておりフェスのような感じでした。



東大の門の前で記念撮影

【参加生徒の声】※一部抜粋、及び内容が変わらない範囲で少し改変

• 最初はあまり気が進まずどうせ高校一年生なんだから大学なんて行ってもなんも得られないだろうと思っていましたが、今思うとただただいい経験だったと思います。大学院生が多く普通の大学とはイメージがかけはなれているかもしれませんが、研究室の研究を知れてよかったです。引率の杉原先生がわかりやすく説明してくれたり、東大生も研究の解説や説明をしてくれて、初めて知識を得られて嬉しいと感じたかもしれません。ちゃんと世界や地球、人々のために動いている研究が多く、感激しました。例えば注射を痛くさせずに、もっと楽に簡単に検査できたり、薬を入れられたりする研究は、痛いをなくすくらいしかメリットが思いつきませんでした。他にも色んなメリットがあったので、人が人のために動いているのが鮮明に見られて個人的にいちばん感動しました。自分が想像していたキャンパスライフも見たいとは思いましたが、その先の院生の今を見られて本当にいい経験になったと思います。ありがとうございました。

- 小説のメタバースがとても面白かった。僕自身は活字に触れてずっと読めるタイプだった。だが本が苦手、字が苦手、という人にどう面白さを説明すればよいか、克服方法はどんなのか分からなかった。でもこの想像力を補うような物があればアニメや漫画、ライトノベルの挿絵のかわりになり得る。そうなれば将来的に本を読む、聞くだけでなく体験することもできるかもしれない。そうして字の苦手意識が減ったり、全体の国語力も上がるかもしれない。そんな未来の可能性を知ることができとても楽しかった。機会があったらまた行きたい。
- 低い音を聞いたところが印象に残っていて、おんなじ大きさでも高い音の方が聞こえやすく、低い音の方が聞こえにくいということも知れたし、普段生活している環境には、聞こえない範囲の音も含まれているということを知って、普段生活している環境は騒がしい環境かもしれないなと思いました。
- 一人一人が自分のやっている研究を楽しんでいるのが説明を聞いていてすごく伝わってきました。自分がやりたい事だからこそ全部楽しめているし継続もできているんだなと、やりたい事をやるということがどれほどすごいものなのかを実感しました。英語が苦手な僕として一番驚いたのはいたる所で英語が使われているところです。研究結果をまとめて展示している研究も日本語表記は少なくほとんどが英語で書かれていたし、エレベーターも日本語のあとに英語が流れてきてすごかったです。
- 様々な研究をしていて、自分の知らなかったことを知ることができるので、新しく興味が湧く良いきっかけになると思うので、行ってみると楽しいと思います。

大学ではいろんな研究をしていましたね。高校生のみんなは、大学は何をす
るところなんだろう。「勉強」する場所だけど、どんな勉強なのか。「学術」な
ので、高校とはまったく異なります。

そして「研究」ってなんだろう、と疑問があると思います。すべての分野の
研究が東大には揃っているといっても過言ではありません。東大に行けるか行
けないかではなく、「研究」とは何かを自分自身の数年後の未来を体験するの
が今回の目的です。

参加生徒の感想にあったように、大学のイメージが変わったと思います。少
し先が見えてこれから高校生活を送ると、わからずただ過ぎるのではまった
く違ってきます。参加希望者がいる限り毎年引率しますので、大学を一緒に楽
しみましょう。

